

# 自律貢献

2026年(令和8年)5月28日  
福山市立向丘中学校  
校長 高田 佳明  
学校だより《5月》



## 大運動会が終わった後に思うこと

大運動会も終わり、中間考査の結果に一喜一憂しつつ、次は福山地区春季総体へと、生徒のみなさんは忙しい毎日をご過ごしていることと思います。

大運動会では、みなさんの熱い姿がとても印象に残っています。ところで、これまでの自分自身の経験から、いわゆる陽の当たる場所にいる人だけでなく、陰で支えてくれる裏方の存在を忘れないように心がけています。この度の大運動会でいえば、グラウンドの中心で演技や競技をしている人だけでなく、係活動がきちんとできているか、仲間を応援する姿はどうか、などについても注目して見ていました。そこには、裏方であっても、目立たなくても、自分のやるべきことを理解し、一生けん命取り組む姿がありました。

そこで私が感じたのは、生徒一人一人の「成長の可能性」であり、私たち教職員が、保護者や地域の方々、生徒たちと考えさせれば、もっと、もっと動かすことがの想像以上に、様々なこと、そして10年後20年後に、それぞれの夢や希望を本当に叶えてくれるかもしれない、ということです。

**大切なことは  
何気ない毎日の生活の  
積み重ね**

ちにもっとかわり、もっと伝えれば、もっと教えられる、おそらく私たちが吸収して成長してくれ、

裏方といえば、中間考査前日の放課後のことです。生徒たちも下校し、私は校舎の中を見回っていました。すると、誰もいないはずの教室では、先生方が、落ちていたプリント類を拾い、机を縦横そろえ直し、大運動会で魂を入れて作った学級旗を掲げたり、掲示物を確認したり、ほうきとちり取りをもって、きれいに掃除をしたりしていました。

ある学年の担任の先生に「なぜしているのか」と声をかけると、「教室環境は大事だと思う。明日からの中間考査、きれいな教室でみんなが準備してきたことを存分に発揮してほしい、その思いでやっている。私が担任としてできるのは、このくらいですから…」との言葉。先生方の生徒に対する見えない愛情を実感したところです。

「チャンスの神様は前髪しかない。」昔、先輩の教師からそう聞いたことを思い出しました。

## インタビュー

今年度本校に赴任した先生方に聞いてみた～part 2～

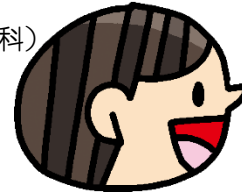
Q:今の生徒たちの様子を教えてください!



山本 聡子 先生  
(2年副担任 家庭科)

大運動会はみんなの頑張りがみられてよかったです。今は気持ちを切り替えていて、これからが楽しみです。

数回に分けて順番に紹介しています



川崎 椋登 先生  
(3-3担任 保健体育科)

ありがたいことに、大運動会では1年生の声がよく出ていてよかったと褒めてもらっています。1年生の強みですね。次の目標に向けて力を発揮してほしいです。

山路 皓介 先生  
(1-1担任 国語科)



大運動会や春季総体に向けて本気で取り組んでいる姿がとてもカッコイイです。上手いかず悩むこともあると思いますが、仲間と同じ方向に向いて頑張っている姿に、私も日々パワーをもらっています。

### 誰も悲しませたくない…

先日、高島学区の地域の会合に出席する機会がありました。その際、中学生の自転車通学の様子についてご指摘をいただきました。内容は、「歩道を走行している自転車通学生が急に車道に進路を移し、乗用車と接触しそうなことがある。乗用車の運転手の予測を超えた動きであり双方にとって非常に危険である」というものでした。命を守るため、大切な人を悲しませないため、改めてルールを遵守しましょう。

### いじめ相談窓口

嘉戸 教頭  
村上 先生  
小林祐子先生

### いじめダイヤル24

専用電話 (082) 420-1313  
相談時間 月～金 9:00～19:00  
(祝日及び12月29日～1月3日を除く)

### 福山市教育委員会相談窓口

学事課職員担当 (084) 928-1112  
教育推進課 (084) 928-1275  
(084) 928-1183